



# 中期経営計画2018

(2016年3月期～2019年3月期)

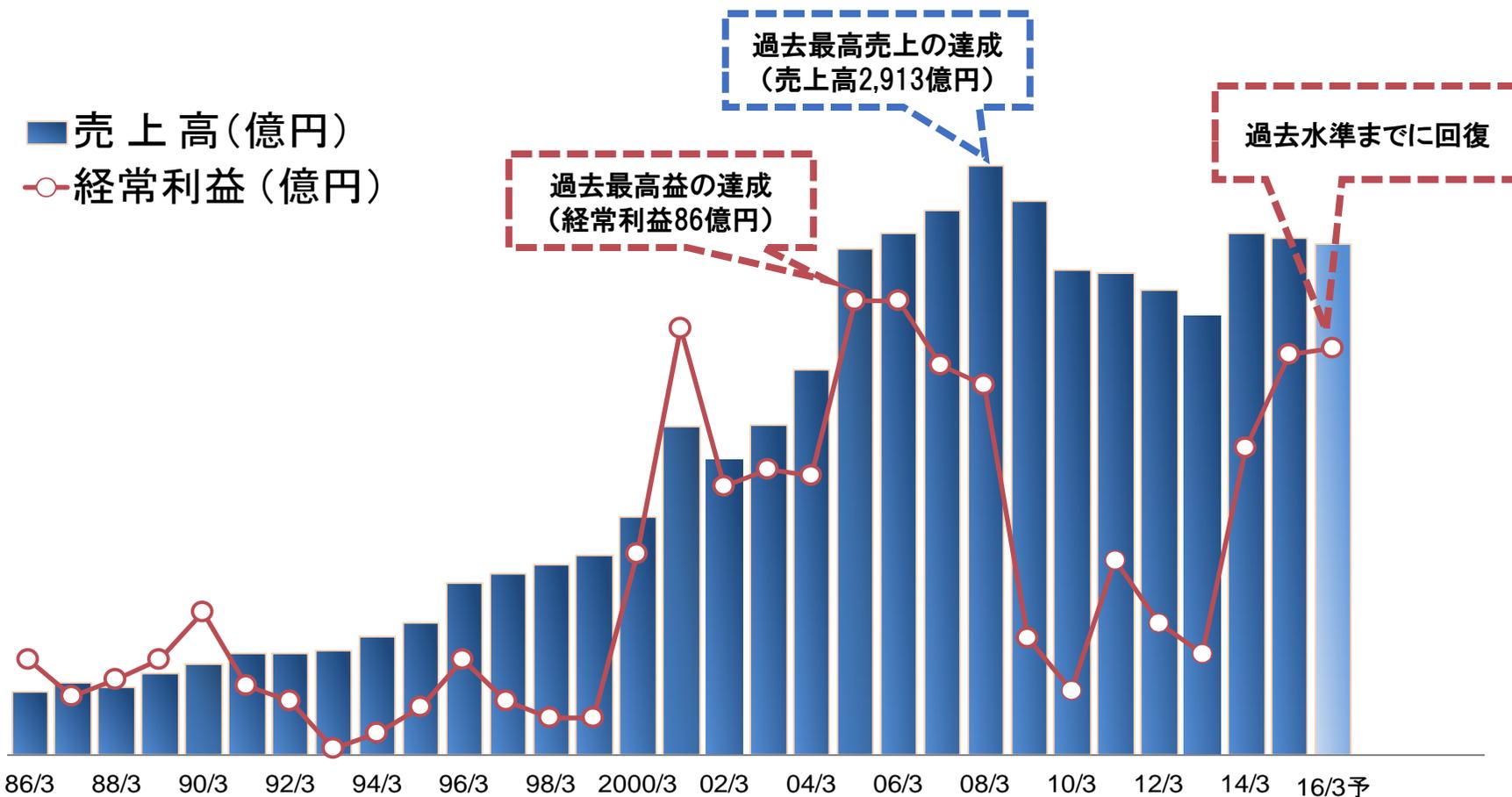
---

2015年11月26日

加賀電子株式会社(東証1部:証券コード8154)  
〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地  
TEL:03-5657-0111  
FAX:03-3254-7131  
<http://www.taxan.co.jp>

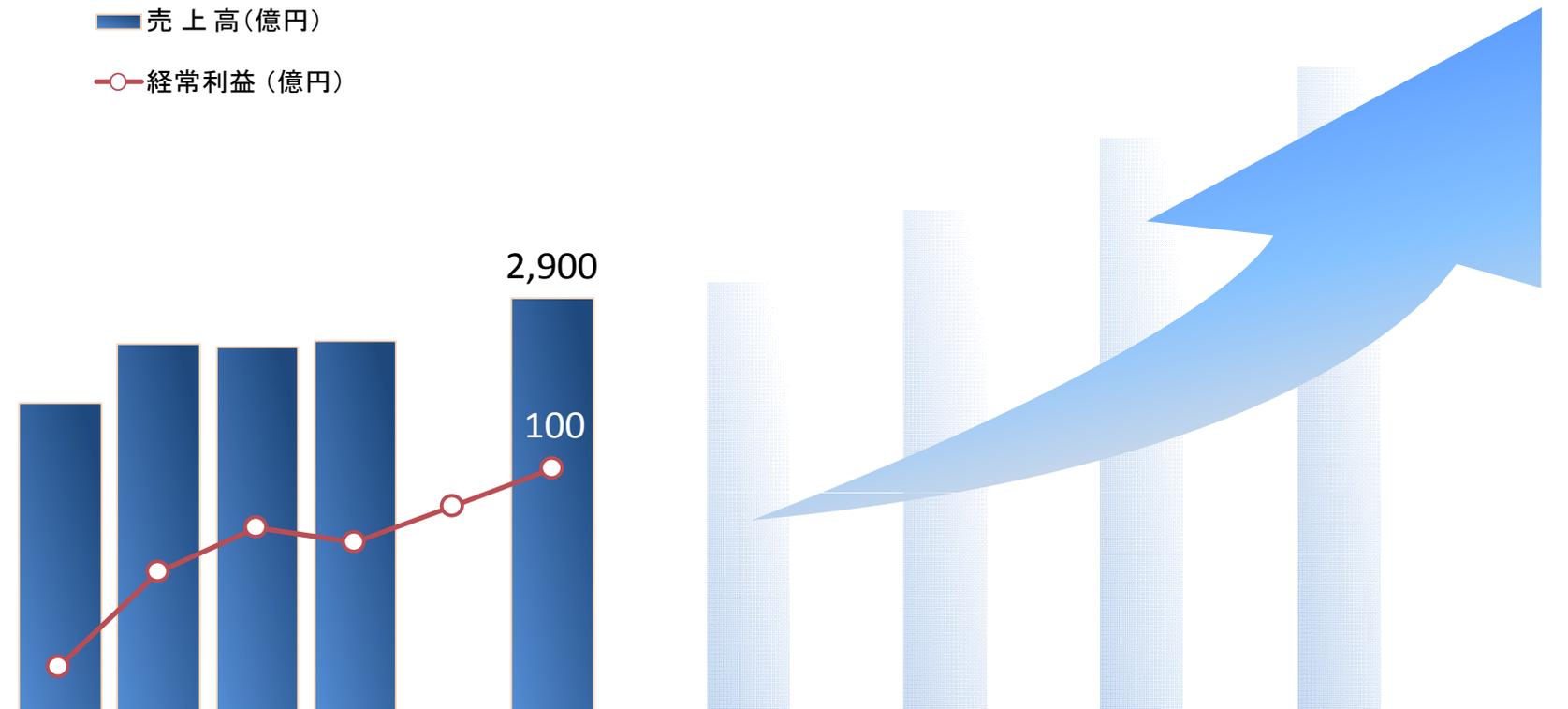
- **2015年3月期までの総括**
- **中期経営計画2018の位置づけ**
- **業績目標**
- **基本方針**
- **グループ経営強化/新規事業**
- **利益配分/株主還元**

# 2015年3月期までの総括



- 2008年以降、業績回復に向け**継続的な構造改革**を断行。
- 2014年度「**利益重視の経営**」に転換。
- 2期連続で増益し、過去水準までに回復。
- **グループ経営を強化**し、より効果的に、より効率的にしていくのが今後の課題。

# 中期経営計画2018の位置づけ



2019/3  
月期



- 利益重視経営の確立と“次世代の加賀電子”として飛躍するための準備期間。
- 設立50周年に向け、その総決算として経常利益100億円(過去最高益)を目指す。
- わが国業界No.1の実現、そして世界に通用する企業として持続的成長を狙う。

指標	2015年3月期 実績	2019年3月期 計画
売上高	2,551億円	2,900億円
経常利益	76億円	100億円
ROE	7.9%	8%以上

ROE8%以上の**継続的・安定的な確保**を目指す業績目標  
⇒収益体質の更なる改善を図り、売上成長の追求していく

## (1)収益基盤の強化

- ① 重点市場の深堀  
(車載、環境、通信、産業機器、アミューズメント)
- ② 重点客先の関係強化
- ③ 海外ビジネスの拡大

## (2)新規事業の創出

(医療・ヘルスケア、素材)

## (3)経営基盤の強化

- ① 販管費の削減
- ② グループ再編
- ③ コーポレートガバナンス体制の強化
- ④ コンプライアンス遵守

# グループ経営強化

経営の最重要課題として業績不振子会社の再建に取り組んでいます。  
 今般の業績回復の要因として、業績不振子会社赤字幅の減少が大きく影響しています。

業績不振子会社再建の状況

単位：百万円

	加賀ハイテック				エー・ディー・エム（現加賀デバイス）				エスアイエレクトロニクス			
	'13年3月	'14年3月	'15年3月	'16年3月 (予想)	'13年3月	'14年3月	'15年3月	'16年3月 (予想)	'13年3月	'14年3月	'15年3月	'16年3月 (予想)
売上高	28,280	28,472	26,176	28,498	9,225	12,193	13,851	14,417	2,087	4,127	2,593	1,987
営業利益	-1,154	-280	-445	-227	-279	44	134	184	9	-376	-186	-9
経常利益	-1,095	-220	-384	-130	-283	29	120	171	-9	-414	-137	2
当期利益	-1,784	552	-419	-143	-420	※425	73	121	-9	-417	-139	59

※ 税務上の繰越欠損金の処理によるもの



再建への 取り組み	<b>企業体質の改善</b> ・事業の選択と集中および在庫の圧縮や経費削減などによる経営体制の見直しを実施し再建中。	<b>2013年10月1日に加賀デバイスと合併</b> ・両社の特性を活かしたシナジー効果と経営合理化推進により業績が回復。	<b>構造改革の実施</b> ・加賀電子技術部門の移管により技術開発力を強化、グループ会社との協業を推進。
--------------	---	---	--

**(基本方針) 競争力のある事業に注力し、将来が描けない事業(会社)は統廃合を実施。**



**業績不振子会社の黒字化を目指す。**

## ■ アミューズメント施設用マルチ電子マネー決済システムを開発 全国のアミューズメント施設に向けた販売を本格的に開始

加賀電子株は、アミューズメント施設向けのマルチ電子マネー決済システム(注)を開発し、2015年11月から全国のアミューズメント施設運営企業に対する販売を本格的に開始しました。

当システムは、全国の鉄道事業者の発行する各種交通系電子マネーや流通系等の電子マネーに対応する決済システムです。

今後は駅前周辺の市街地やショッピングセンターなどの電子マネーと親和性の高い地域や場所にあるゲームセンターを中心に当システムの販売と導入を加速して進め、ゲームセンターを始めとするアミューズメント施設での遊び方に変化と革新を与え、アミューズメント施設業界の今後の発展に少しでも貢献して行きたいと考えています。

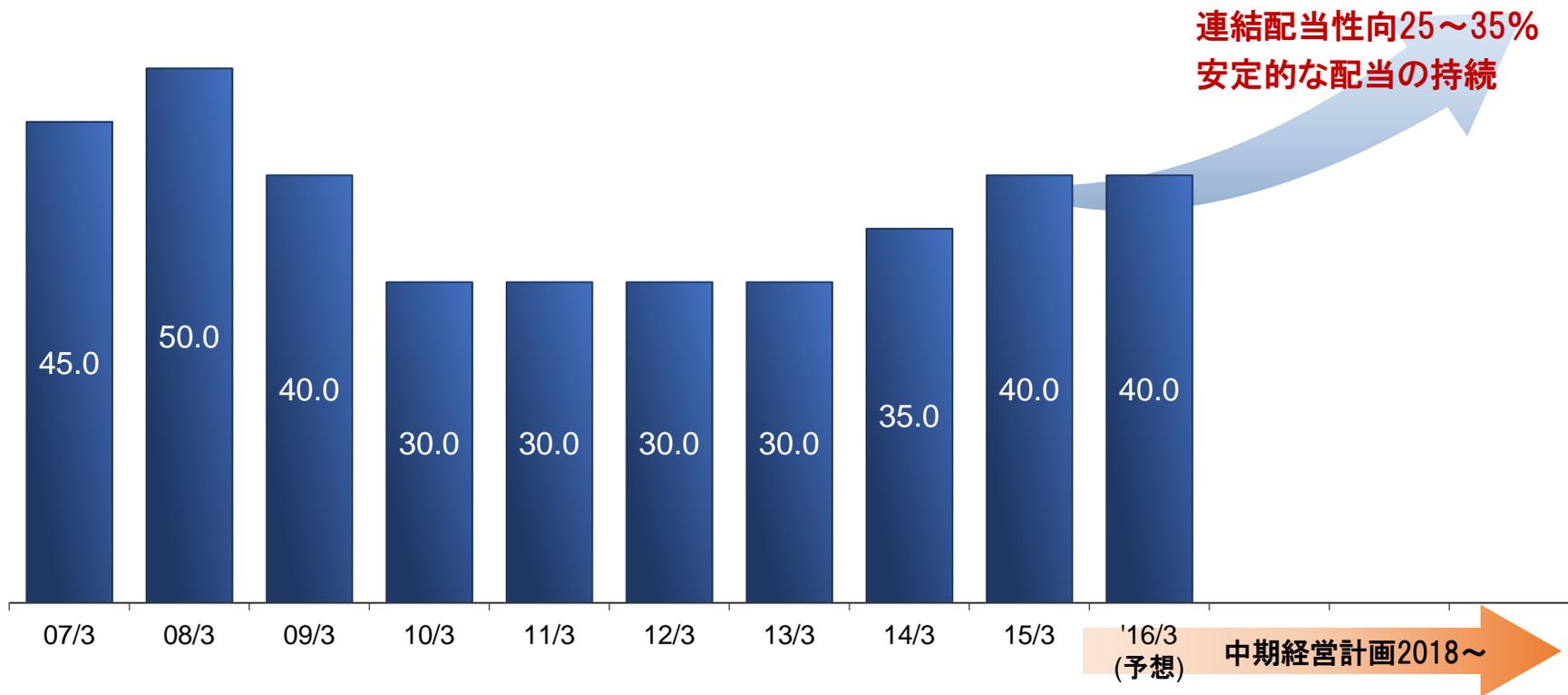
(注)ヤマトシステム開発株式会社とヤマトフィナンシャル株式会社と共同で提供するサービスです。



# 利益配分/株主還元

## 利益配分に関する 基本方針

連結配当性向25~35%を確保しつつ安定的な配当を実施していく。  
自己株式の取得は市場環境、資本効率等を鑑みながら、適宜検討。  
内部留保は企業価値向上に資する事業投資、設備投資、M&Aに活用。



連結EPS	151.5	128.9	△28.9	△11.5	64.0	33.1	16.0	137.2	156.2	176.9
連結配当性向	29.7%	38.8%	—	—	46.8%	90.5%	186.5%	25.5%	25.6%	22.6%

## ■ コーポレートガバナンス・コードへの対応について

加賀電子(株)は、(株)東京証券取引所の上場制度が整備されたことにもない、コーポレートガバナンス・コードへの対応を反映したコーポレート・ガバナンス報告書を(株)東京証券取引所へ提出しました。



コーポレートガバナンスの基本的な考え方

コーポレートガバナンス体制

```
graph TD
    Board[株主総会] --> BoardOfDirectors[取締役会 取締役 10名]
    BoardOfDirectors --> RepresentativeDirector[代表取締役社長]
    RepresentativeDirector --> RepresentativeDirectorOfCompany[代表取締役社長]
    RepresentativeDirectorOfCompany --> BoardOfDirectorsOfCompany[取締役会]
    BoardOfDirectorsOfCompany --> AuditCommittee[監査委員会]
    BoardOfDirectorsOfCompany --> Management[業務担当取締役 経営管理]
    BoardOfDirectorsOfCompany --> BoardOfDirectorsOfCompany[取締役会]
    BoardOfDirectorsOfCompany --> BoardOfDirectorsOfCompany[取締役会]
```

※コーポレート・ガバナンス報告は、当社ウェブサイトに掲載しています。  
<http://www.taxan.co.jp/jp/csr/governance>